

経営比較分析表（令和4年度決算）

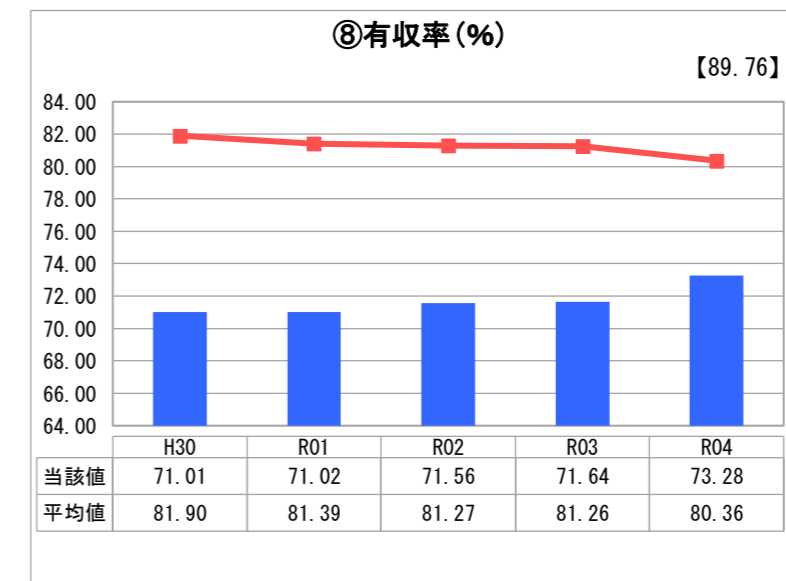
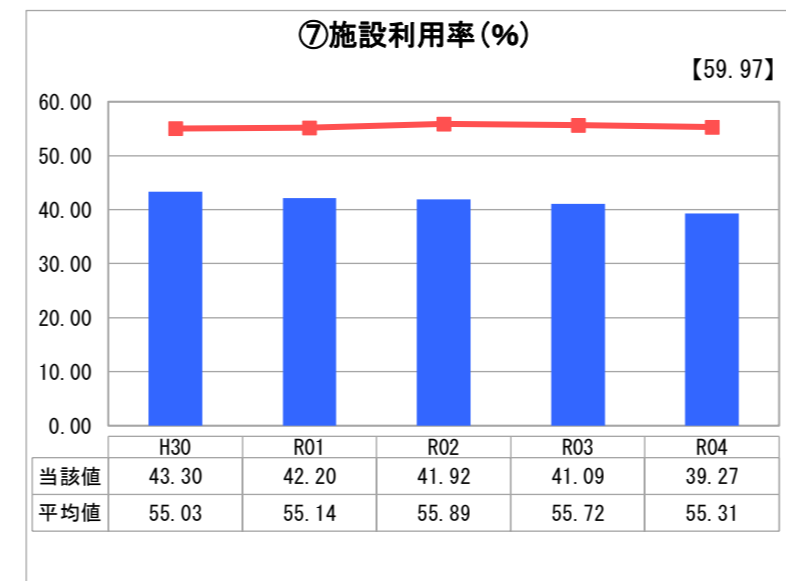
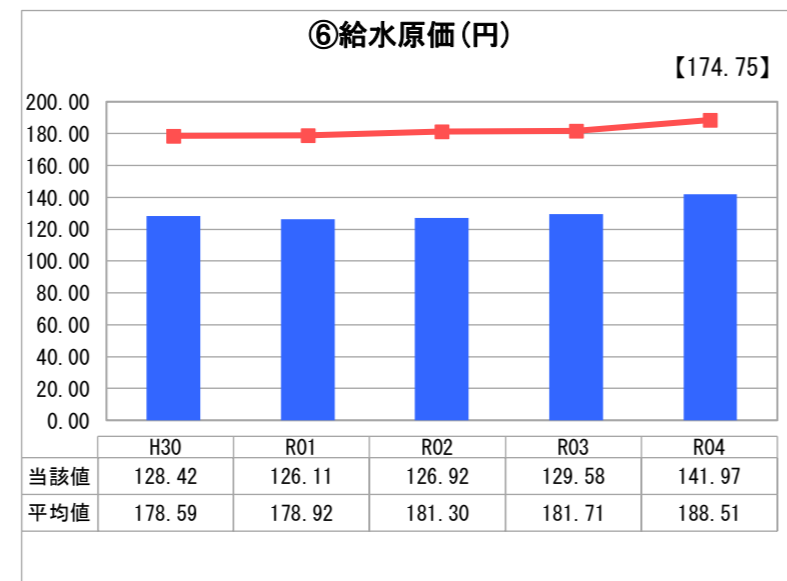
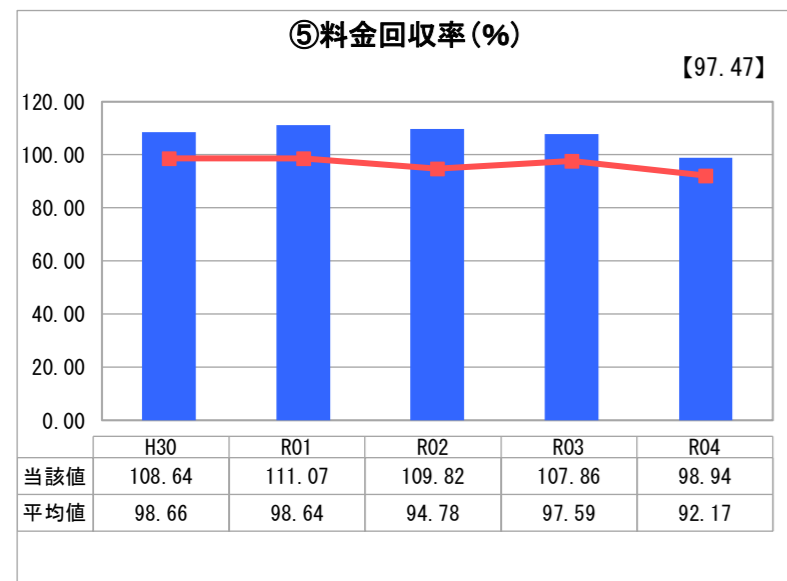
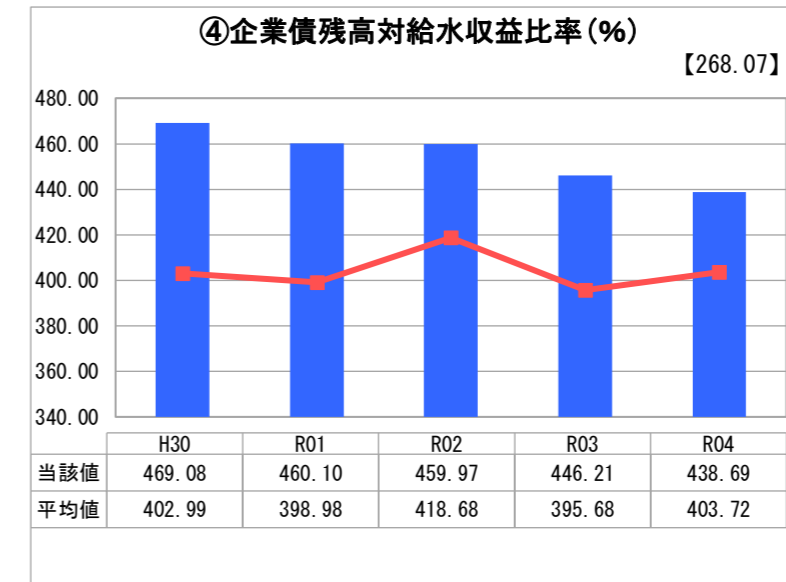
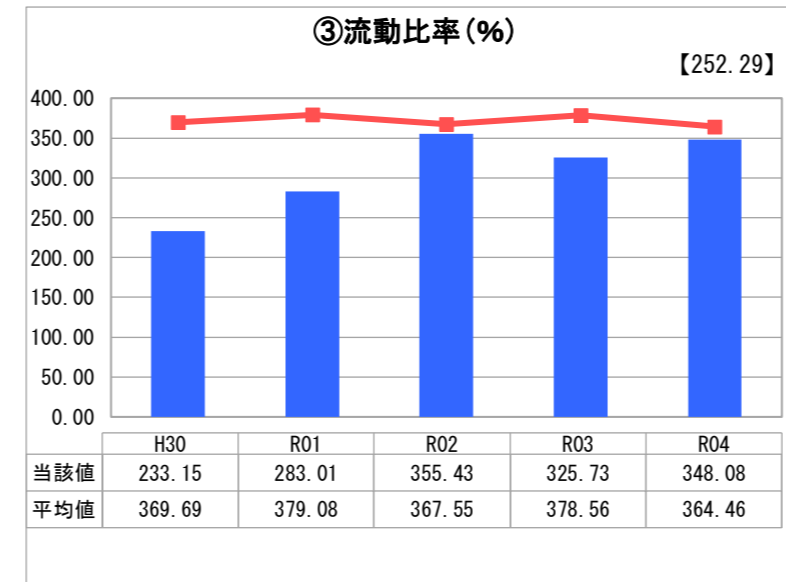
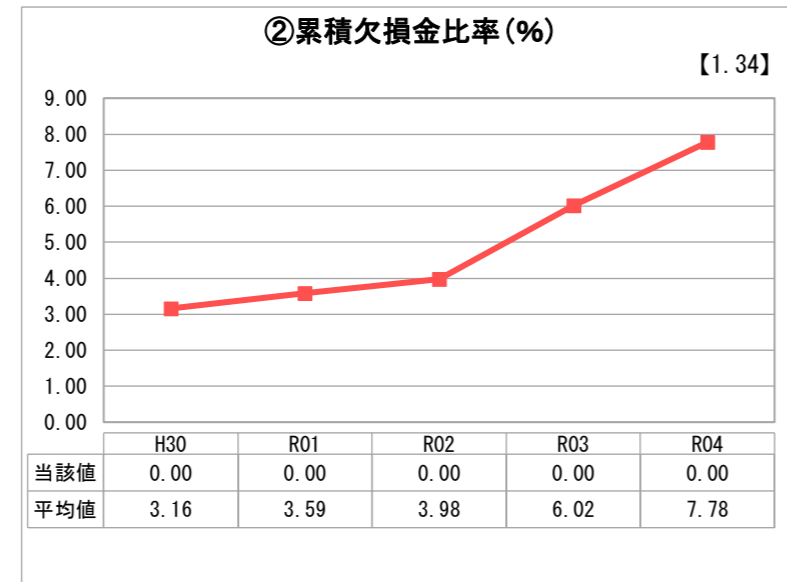
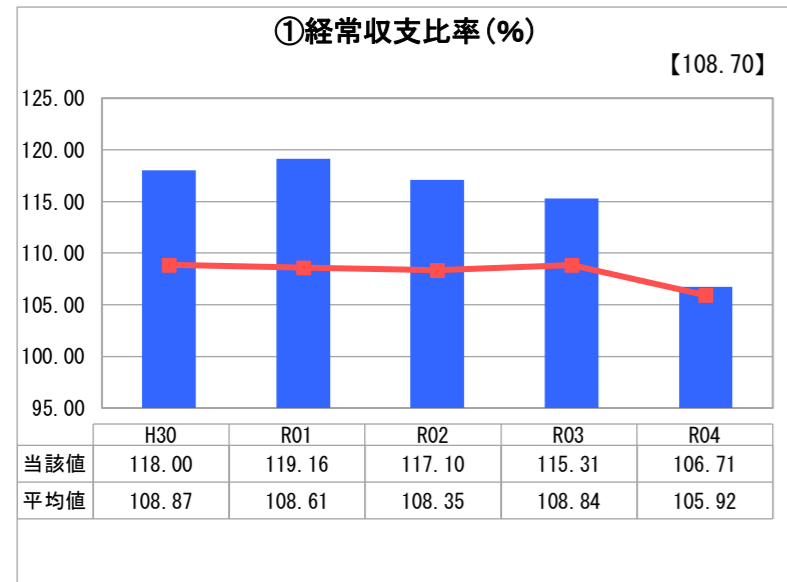
岐阜県 美濃市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	65.88	99.92	2,470	

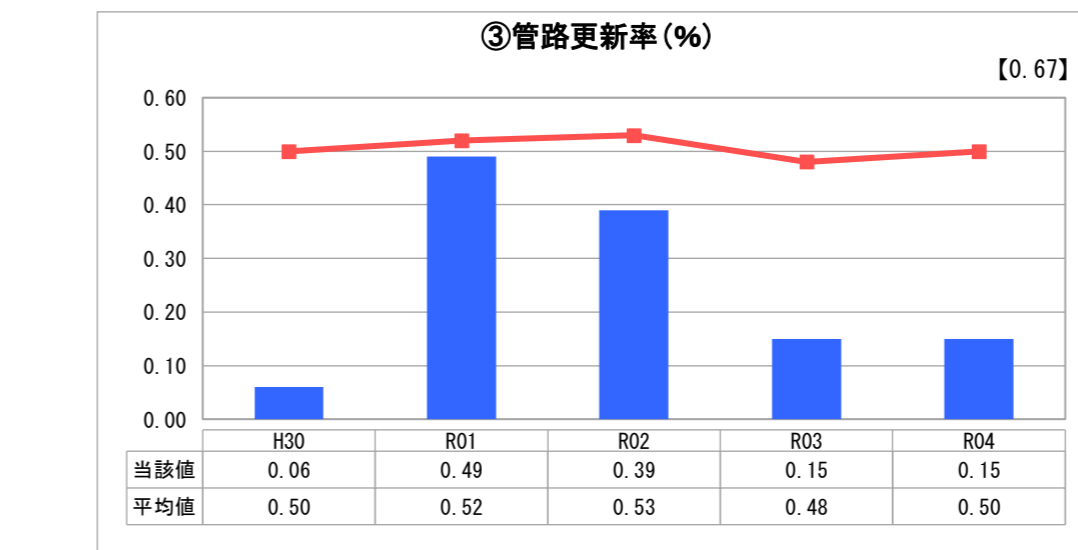
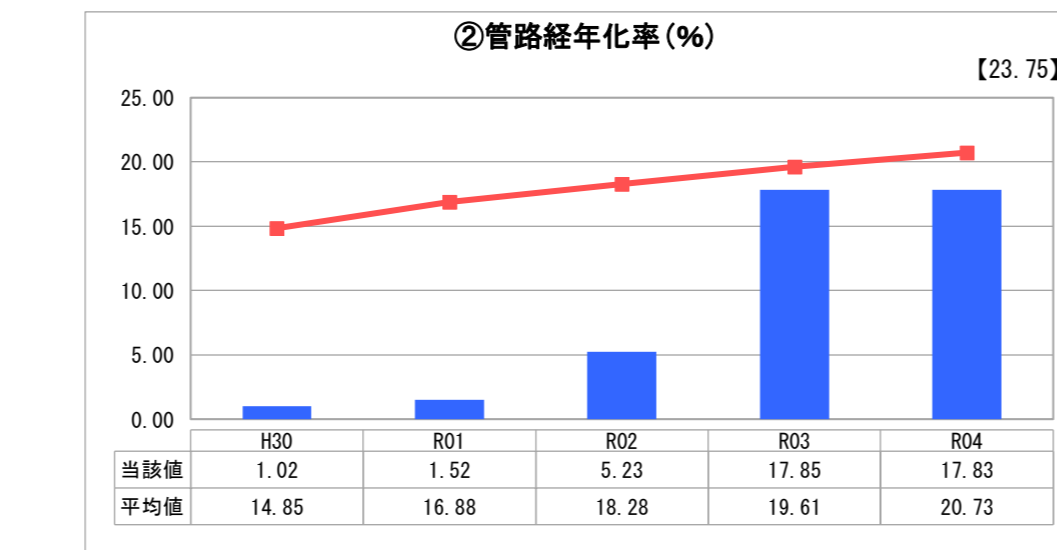
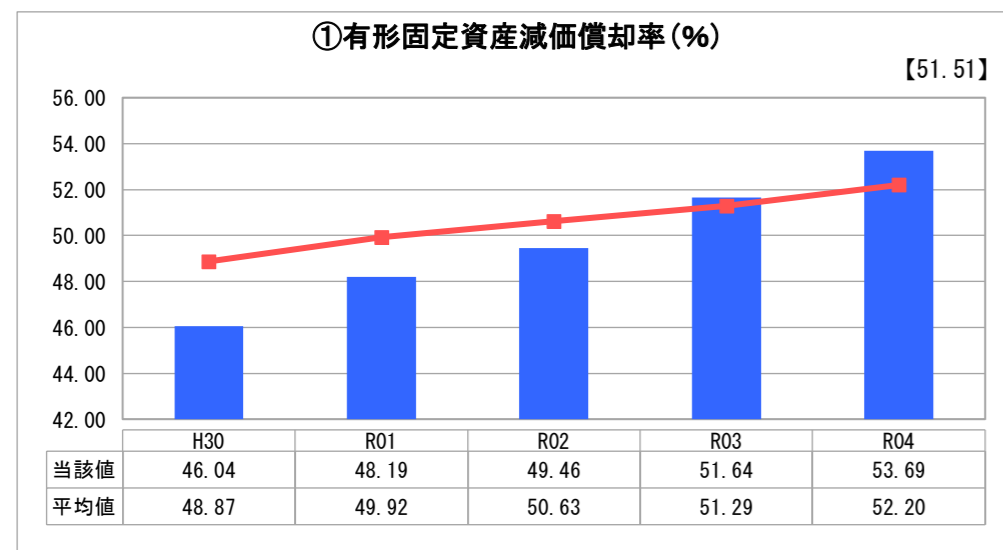
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,494	117.01	166.60
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
19,328	47.87	403.76

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
電気代の高騰等により経常費用が膨らみました。今後も人口減少や節水機器の普及による給水収益の減少、修繕費等の増加が予測されます。経営水準維持のため、適正な料金水準の検討が必要です。

② 流動比率
類似団体と比べるとやや低い水準ですが、100%以上を維持しています。今後も現金等の流動資産が増加するように管理していきます。

③ 企業債残高対給水収益比率
供給開始から現在に至るまでの拡張事業の財源を企業債に頼っており、類似団体に比べ高い水準となっているため、適正な管理に努めます。

④ 料金回収率
給水収益は減少傾向にあり、令和4年度100%を下回りました。給水に係る経費を減らすとともに給水料金改定を検討する必要があります。

⑤ 給水原価
当市水道は良質な原水であり、塩素減菌のみで供給できるため、給水原価は低く抑えられています。

⑥ 施設利用率
類似団体より低く、需要に見合った施設規模の在り方を検討する必要があります。

⑦ 有収率
漏水調査や老朽管の計画的な更新により、有収率は上昇しています。今後も継続的に有収率の向上を図ります。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
増加傾向にあるため、法定耐用年数の近い施設や管路の更新を計画的に行います。

② 管路経年化率
下水道敷設時に水道管を更新しているため、経年化率は非常に低い状態でした。しかし管路更新率の減少に伴い経年化率は上昇しています。

③ 管路更新率
類似団体と比較して低い状態にありますが、令和元年度より、計画に基づき積極的に管路更新を行っています。

全体総括

市民に安全な水を安定して供給するため、健全経営に努めていますが、人口減少等により給水量が減少する中で、収益の減少が予想されます。一方で、老朽化した施設や管路の更新、大規模災害などに必要な更新費用は増加し、今後の経営環境はますます厳しいものとなります。

平成29年度に策定した「経営戦略」、同年に策定し、令和4年度に更新した「水道ビジョン」のもと、計画的な更新事業を着実に実施し、施設・管路の強靱性を高めます。また、更新事業の財源となる給水収益は減少傾向にあるため、適正な料金水準の検討や簡易水道事業統合によるスケールメリットを活かした経営により、健全経営に努めます。